
平成 24 年

11 月の普及活動状況

ダイジェスト版

～県下 10 農林事務所農業普及課と農業経営課技術支援係の取組～



岐阜県農政部農業経営課

平成24年11月の普及活動状況ダイジェスト版

活力ある新産地づくり

西濃農林 ■ ブロッコリー 目揃会の開催

11月14日にJAにしみのブロッコリー生産協議会が目揃会を開催した。生産者約60名が出席し、出荷基準を遵守した調整方法等について確認するとともに、栽培研修を行った。

農業普及課からは、出蕾状況から見た品種ごとの出荷開始時期の見通し、病虫害防除、年明けに出荷する品種の追肥について説明するとともに、ぎふクリーン農業の基準に留意するよう指導した。今月末には、ほとんどの生産者の出荷が始まる見込みであり、今後は出荷基準に基づく選別の徹底や病気の防除、追肥について指導していくこととしている。

また、年明け出荷に向けた栽培技術習得のため、先進地視察研修会の開催を提案した結果、年明け出荷を行う滋賀県の産地の視察研修を協議会事務局とともに実施することとなった。

中濃農林 ■ 円空さといも 円空さといもの栽培者を募るため説明会を開催

11月26日に円空さといもの新規栽培者を募るため、「さといも産地振興プロジェクト推進委員会」（構成：JAめぐみの、関市、美濃市、商工会、生産組合、農林事務所等）が、栽培説明会を開催した。説明会には、JAめぐみの管内の関市、美濃加茂市、郡上市等から25名の参加があった。

当日は、円空さといもの概要、組合加入条件等について説明を行った後、里いも選果場にて円空さといもの選果の様子を見学した。

農業普及課では、開催に向けて関係者の調整を行うとともに、説明会では、栽培ほ場の選び方等円空さといもの栽培についての説明を行った。



【円空さといもについて詳細に説明】

売れる農畜産物づくり

岐阜農林 ■ かき 富有の出荷が始まる！

岐阜管内の各産地では、10月27日～11月1日に目揃会が開催され富有の出荷が始まった。今年は9～10月の高温により着色は遅れているものの肥大は順調で着果量も多い。

多くの出荷量が見込まれ、単価の下がる恐れがあるため、農業普及課では、有利販売に向けて、生育調査データに基づく等階級予測情報を市場等へ提供し、出荷量に応じた販売を促進するとともに、適期収穫の励行、家庭選果の徹底による品質の確保を指導している。



【糸貫選果場の目揃会】

郡上農林 ■ だいこん キスジノミハムシの寄生雑草キレハイヌガラシ除草剤試験の実施

今年度の夏だいこん出荷量は5,395tで、前年(5,317t)を若干上回る結果となったが、重要害虫キスジノミハムシ(以下「キスジ」という。)の被害は、例年と比べて大きかった。

キスジは、冬期に雑草地で越冬する。来年の栽培に向けてキスジの密度を下げるには、寄生雑草の徹底駆除が重要である。

農業普及課では、キスジの寄生雑草であるキレハイヌガラシ対策として平成24年から「のり面芝生被覆試験(のり面を芝生で覆い、寄生雑草を生やさない方法)」を行っているが、それと並行して、除草剤による駆除試験も行うこととした。



【試験区で除草剤を散布】

除草剤（成分名：グリホサートカリウム塩）を供試薬剤とし、濃度は50倍と100倍

の2区、散布時期は秋2回と秋・春1回ずつの2区の試験区を設定し、除草効果を比較することとした。現時点で50倍の除草効果が高いことが確認できた。次年度にわたって調査を継続し、キスジ対策の一つとして確立したい。

可茂農林 ■ 夏秋トマト 歴代最高単収で今年度の出荷終了

美濃白川夏秋トマト部会の出荷が11月19日で終了し、単収は、歴代最高の9.38t/10aとなった。

「美濃白川夏秋トマト産地戦略会議」（構成：JAめぐみの、白川町、東白川村、美濃白川夏秋トマト部会、農林事務所）では、戦略会議を設置した平成20年から単収の向上に向けて管理方法の見直しなどの取組を続けてきた。

その結果、平成20年の単収6.83t/10aから大幅に増加し、大きな成果となった。

農業普及課では、肥料や栽植本数の増加などの試験・実証や、全生産者を週に1回以上巡回指導を続けるなど支援してきた。

今後も、戦略会議内の意見調整や生産から販売まで支援を行い、トマト産地の活性化に向けた活動を行う。

恵那農林 ■ いちご いちごの目揃会の開催

11月20日から管内のいちごの収穫が順次始まり、11月28日に東美濃いちご生産協議会が、出荷目揃会を開催した。

出荷目揃会では、最初に量目、着色基準、荷姿などのお荷規格について生産者同士で目揃を行った。続いて、栽培研修が行われ、農業普及課から低温期の温度管理や地域で実証してきた燃料費等を抑える低コスト栽培体系などの説明を行った。

また、JA直売店やスーパーマーケットなど地域内での販売が中心である中、地産地消の特徴を活かすには、どのような取組が必要かなどについて意見交換が行われた。農業普及課からは、安全・安心な農産物づくりに向けて、GAPやぎふクリーン農業への取組の必要性など提言した。

今後も農業普及課では、この地域にあった、低コストで持続性の高い栽培体系をさらに改善・検討するとともに、地域の特徴を活かした販売に向け提案していく。

飛騨農林 ■ 飛騨トマト 葉柄中硝酸イオン濃度測定による単収向上

トマトの単収を1t増加させることを目指した飛騨トマトプロジェクトの一環として、生産者、JA、農業普及課が一体となって「葉柄中硝酸イオン濃度測定による肥培管理」の普及に取り組んできた。

その結果、全生産者の4分の1にあたる80名が、硝酸イオンメーターを購入し、若手生産者を中心に普及が進みつつある。

購入した生産者からは、硝酸イオン濃度の測定によって客観的に肥培管理の判断ができると好評である。これらの技術改善の結果、10月末現在での平均単収は8.6t/10aで、前年比0.6t/10a、108%の増加となった。

農業普及課では、各生産者から集められたデータをもとに、上位単収者の濃度推移、土壌病害（褐色根腐病）による濃度の低下傾向を分析し、新たに「飛騨トマト」の硝酸イオン濃度の基準値作成をすすめた。今後も分析データや生産者の活用事例を収集し、数値による肥培管理技術の確立を目指す。

農業経営課 ■ ナス 袋栽培の現地実証検討会議を開催

中山間農業研究所で取り組まれている「夏秋果菜類の土壌病害を回避する超低コスト栽培システム（独立袋栽培）」を夏秋ナス栽培で普及するため、今年度、農業普及課と連携して現地実証試験を県下3カ所で開催している。

11月2日には、農業革新支援専門員が中山間農業研究所の研究員、担当普及指



【出荷基準を確認する生産者】



【測定に使用するイオンメータ】

導員とともに、恵那地域の実証ほにおいて、生育状況についての現地検討を行うとともに、その後の室内検討会で、実証ほ等での問題点や課題を整理・分析し、次年度への改善対策を協議した。

農業経営課では、来年度以降、袋栽培について各地域の状況を取りまとめ、課題があれば解決しながら、本技術を県内各産地へ速やかに普及する。

多様な担い手の育成・確保

下呂農林■人・農地プラン 集落座談会を開催

下呂市門和佐地区において、「人・農地プラン」に関する3回目の集落座談会が開催された。

座談会には、農事改良組合長や環境保全推進協議会代表、地域農業の中心的担い手等16人の地域住民、下呂市、農林事務所（農業振興課、農業普及課）、JAひだ職員が参加し、積極的な意見交換を行った。

話題は、集落アンケートの結果報告と意見交換、農地集積の方法、担い手への農地情報の提供、今後の集落保全方法等多岐にわたり、熱の入った話し合いとなった。

今後は、下呂市の検討会で審査を行い、プランが正式決定される。



【門和佐での集落座談会】

魅力ある農村づくり

揖斐農林■鳥獣害対策 イベントで、地域ぐるみの対策を普及・啓発

農業普及課では、農業振興課と連携し、11月の鳥獣被害対策推進月間に合わせて、11月18日に揖斐川町の道の駅「夜叉が池の里さかうち」、11月23日に大野町のイベント「柿・牡蠣（かきかき）祭り」で鳥獣害対策相談コーナーを設け、鳥獣被害対策の普及・啓発活動を行った。

当日は、鳥獣害対策の手引き（パンフレット）配布、追い払い道具（ロケット花火発射装置（ひとしくん）、爆音ピストルなど）の展示・実演を行い、イベントに訪れた多くの住民に地域ぐるみの対策の必要性をアピールした。

来場者からは、イノシシやシカの他、小動物対策の相談があり、それぞれの獣種に応じた対策を指導した。

東濃農林■多治見駅北農産物直売所（仮称） 新たな地産地消の拠点づくりに向けて

管内では本年、瑞浪市に「きなあつ瑞浪」がオープンし人気を博しているが、多治見市でも市内の直売所等が集まり、再開発中の多治見駅北地区の総合福祉施設ビル1階に25年6月のオープンを目指し、直売所の店舗を設置する計画づくりが進められている。

年度当初から多治見市・JAとうと・現直売所・市園芸畜産振興会・農林事務所の関係者が集まって検討を重ね、直売所を核とした農業振興、コンセプト設定、出荷計画、店舗づくりのほか、市民農園を巻き込んだ野菜づくり塾の強化など計画が策定されつつある。

新しい直売所は、地元量販店と並び地産地消の拠点として期待される。農業普及課では、野菜づくり塾を通じた技術指導、まちづくりとの連携や関係者間の意見調整など、支援していく予定である。



【鳥獣害対策を指導】



【多治見駅北再開発地に建設が進む、直売所入居予定のビル（写真右端中央）】